

7 築後50年目の施設の活用方針に関するチェックシート(イメージ)

施設名 :	索引番号 :
財産名 :	
施設所管課 :	担当者 : (内線:)

【1】施設の劣化度を調査し、大規模改修により築後70年以上使用可能かを点検		
点検項目	チェック	具体的内容を記載
施設性能	1. 老朽度評価	
	耐震性能の確認状況	○:適合・改修済(平成 年度改修)
		×:不適合
	△:未調査	

【2】施設の必要性から、適正規模を点検				
点検項目	チェック	具体的内容を記載		
有効活用度	1. 有効活用度評価			
	「減損の兆候を判断する指標」	(減損の数値)		
2. 府の施策、個別施設計画、府民の安心・安全面(※①、③については、条例や計画等の該当部分をご提出ください。)				
必要性	① 法令上、都道府県に必置の施設である。	(根拠法令)		
	② 府の施策と密接な関連のある施設である。	(関連する府の事業名) (施設が担う役割)		
	③ 行財政計画、施設類型別計画等の行政計画において府が維持していく方針、必要性が位置づけられている。	(行政計画名) (計画での施設の位置付け)		
	④ 府民の安心・安全のために必要な施設である。	(安心・安全面での府民への関与状況)		
適正規模	3. 人口減少社会、将来ニーズによる施設規模の適切性の検討			
	① 人口減少社会、将来のニーズを踏まえ施設の規模	府内人口 (単位:千人)	現況	20年後(予測)
		利用者 (単位:人)		
	必要延床面積 (単位:m ²)			
② 他施設への移転が可能である。		(施設移転可否の理由)		

【3】【1】、【2】を踏まえた建替えの検討		
点検項目	チェック	具体的内容を記載
建替え	1. 建替えの検討	
	大規模改修より建て替えるほうが妥当である。	(試算内容)
建替え	2. 民間手法(PFI等)導入の検討	
	PFI等の民間手法を活用できる可能性がある。	(試算内容)



検討結果	活用方針	理由・考え方・意見
I 維持	予防保全(大規模改修)を行い、維持	
II 建替え	現状規模で建替え	
II 減築	施設規模を縮小し、減築	
III 転用	施設の役割(機能)を廃止し、新たなニーズに対応するため転用	
III 集約化・貸付	施設の空きスペースに他の施設を集約又は第三者へ貸付	
IV 移転	他の施設の空きスペース等に移転	
IV 売却	施設を廃止し、売却	
継続協議	継続して点検を実施し、点検結果がでるまで事後保全	